

「活動報告」

ハンガリー派遣事業の2日目は、日本大使館訪問とブダペスト市内観光でした。日本からの長い移動を経ての2日目でありましたが、団員にはワクワクとした表情や期待に満ち溢れた笑顔が見られました。

ついに素敵な旅が始まるのだと、しっかりと自覚した瞬間をよく覚えています。

初めの訪問先は、日本大使館でした。日本大使館では、大使館での仕事内容、日本とハンガリーのつながりについてお話していただきました。国の政治や経済についての情報を収集し、課題解決のために努力を尽くしたり、領事の仕事では、旅券や証明書の発給、戸籍の受付、広報活動などを行ったりしているそうです。

日本から約500人位の留学生を受け入れているという話をお聞きした時は、意外にその数が多く、驚きました。日本人がこのようにハンガリーを訪れること、安心した暮らしを豊かに送ることができるのは、こうした機関が存在してくれているからなのだと学ぶことができました。

昼食後は、市内観光でした。ハンガリーの街並みは、さすが観光地だと思うほど素敵な街並みでした。

私が特に印象に残った建築物は、聖イシュトバーン大聖堂と、漁夫の砦です。聖イシュトバーン大聖堂は、高さが96メートルもあり、カメラに収まりきらないほど迫力満点な建築物でした。一つ一つの細かい模様や彫刻、大理石、火の灯るろうそく、パイプオルガン、光の入り方までもが、美しいという言葉では、表現しきれないほど綺麗なものでした。漁夫の砦には、ブダペスト市内が一望できる空間が広がっていました。他にも、ハンガリーを代表する刺繍や、青く輝くステンドグラスを見ることができました。

1日ブダペストを見て回ることができ、よかったです。様々な建築物や町並みを見るたびに、歴史を感じ、強く感銘を受け、派遣団員になることができ改めて良かったと思います。そして多く説明をしてくださった、シピさんに感謝の気持ちをしみじみと感じるよい1日となりました。